

## 提出された意見と市の考え方

No.	提案箇所	提案された意見	市の考え方
1	—	第1章、第2章に、色味が少ない（意図があるならいいが）。	色やレイアウト等については、今後、計画書の印刷作業の際に、全体的なバランス等を考慮しながら調整します。
2	—	少子化の把握のため、生涯未婚率と夫婦の完結出生児数の表を作成して記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
3	P14	田原市の現況と課題の都市整備分野で、太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルート指定と愛知県自転車活用推進計画の改定で太平洋岸自転車道の整備方針の新規追加（自動車交通量が多い車道混在の区間において、適切な自転車通行空間の整備を行う）を記載してください。	ナショナルサイクルルート指定については、P109～111の「交通基盤の整備」に記載しております。 愛知県の整備方針追加の内容については、P109の「交通基盤の整備」の「現状と課題」に追記します。
4	P15	都市整備分野で、定住・移住につながる居住環境の整備に（狭あい道路の解消）を追加してください。	狭あい道路の解消は、P109～111の「交通基盤の整備」に記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
5	P20	意見聴取ボードの多かった意見（抜粋）の意見内容で「飲食・衣類・雑貨など、買い物できる場がほしい」とあるが、「きる場がほしい」と改行しているが、改行位置を直してください。	ご指摘いただいたとおり、改行位置を修正します。
6	P30～31	将来都市像の「うるおいと活力のあるガーデンシティ」のガーデンシティ（田園都市）がどのようなかイメージが出来ないので詳しく記載してください。まちづくりの方針にも豊かな自然環境とあるが、ガーデン（緑・庭など）が触れられていない。	将来都市像については、P30に「海と緑に包まれた渥美半島で、活発な産業と豊かな暮らしが共存する、美しく誇りあふれる田園都市の実現を目指すもの」と記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。 まちづくりの方針に関するご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。

7	P32	将来人口で合併時の人口数を記載してください。	人口の推移については、P9 のグラフで国勢調査の数値を示しておりますので、計画は原案のとおりとします。
8	P34	財政の見通しで、推移と推計の表で推移が分かるように2019年以前の長いデータを記載してください。	財政の見通しについては、今後の財政計画を示すためのもので、参考として過去5年の推移を掲載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
9	P37	将来都市構造のイラストを見やすいように、少し大きくしてください。	レイアウトや全体のバランス等も考慮する必要がありますので、印刷作業の際の参考とさせていただきます。
10	P52以降	目標指標が現状値・目標値の2段階建てになっているが、行政の連続性・継続性から過年度の実績値（改定版第1次田原市総合計画）を目標指標に追記してください。	目標指標については、前回計画から変更した新たな指標もあり、「現状値」として最新の実績値を掲載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
11	P52	52ページの現状と課題で「本市では」とありますが、唐突に「わが国におけるジェンダー平等…」とあるが、田原市の課題として挙げるのであれば具体的な内容を記載してください。審議会委員等の女性比率の推移も女性の引き受け手が少なく、同じ人が順繰りで担っている。	ジェンダー平等については、田原市も含めて「わが国における」という表現をしておりますので、計画は原案のとおりとします。女性比率に関するご意見については、計画に取り組む中での参考意見とさせていただきます。
12	P53	校区別の人口の推移で平成29年度の人口になっているがもっと前の年度の人口にしてください。人口の増減率も記載してください。人口は多くの要因があるが住む場所（宅地や団地）の有無が影響しているので、市街化区域の有無、区画整理の有無、住宅開発の有無、公営住宅の有無を記載してください。	国勢調査と同様に、5年前との比較が適切と考えています。市街化区域、区画整理、住宅開発、公営住宅については、都市整備分野の各施策に記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
13	P55	地域防犯・交通安全の推進で、現状と課題にナショナルサイクルルートの指定により国道42号線の自転車利用者の増加を記載してください。	ナショナルサイクルルートについては、P109の「交通基盤の整備」に記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
14	P57～59	洋上風力発電・浮体式実証の候補海域として「田原市・豊橋市沖」が選定されましたが、その旨を記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます。計画は原案のとおりとします。

15	P57～59	環境共生の推進で、洋上風力発電と国内最大級の木質バイオマス発電を記載してください。	風力発電や木質バイオマス発電については、P101の「工業の振興」に記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
16	P57～59	田原市街地や福江市街地や赤羽根市街地では、鼻を突くような悪臭が発生しています。環境共生の推進の現状と課題で悪臭問題を最上段・上段に記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
17	P57～59	上下水道料金のあり方についての意見書で、令和5年3月31日の田原市の人口59,229人、公共下水道事業・農業集落排水事業・コミュニティプラント事業の合計利用人口は51,815人で87%で、全体では少数の専用住宅の合併処理浄化槽の排出基準についての記述は必要ではない。排出基準は田原市で決めている基準ではない。また三河湾のアサリなどの不漁は、海がきれいになりすぎとして、愛知県は下水処理場からの窒素とリンの放流量を上限まで緩和の実証実験を進めている。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
18	P60～61	路上轢死体の回収のインターネット受付を始めたことを記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
19	P62～63	新たな豊橋田原ごみ処理施設の整備について記載してください。	豊橋田原ごみ処理施設については、P63の「主な取組」に記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
20	P81～83	新聞記事で市内中学卒業生の45%が市外に進学するとありましたが、市外進学も人口減少の一因ですので市内進学率の推移と中学校別の市内進学率を表などで記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
21	P95	農業産出額の推移の表の年度を、農家数の推移・経営耕地面積の推移の年度と合せてください。	農業産出額については、国からデータが公表されていない期間があり、農林業センサスの実施年度に合わせて数値を掲載することが困難なため、計画は原案のとおりとします。
22	P98	漁獲量の推移の表の年度を、漁業経営体数の推移の年度と合せてください。	ご指摘いただいたとおり、グラフを修正します。

23	P109～ 111	交通基盤の整備の主な取組にナショナルサイクルルートの国道42号・田原豊橋自転車道を記載してください。	自転車については、P111に「増加する自転車利用ニーズに対して、ハード・ソフトの両面から環境整備を推進します」と記載しておりますので、計画は原案のとおりとします。
24	P109～ 111	今年度アイアンマンレースが田原市で初開催されましたが、初年度でもあり想定の半分の参加者もあり、本来は4時間の国道42号の通行止めでしたが半分になりました。和地校区の土田地域と若戸校区の越戸地域は大山と太平洋に挟まれており、国道42号の迂回路が集落内にはないので心配していました。あつみ大山トンネルから通称2号線までの間に迂回路を整備してください。	ご意見については、計画に取り組み中での参考意見とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
25	P119	土地区画整理事業（組合施行）の状況と市街化区域の住宅開発状況を改定版第1次田原市総合計画のように詳しく表記してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
26	P122	市街化調整区域の住宅開発状況を改定版第1次田原市総合計画のように詳しく表記してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
27	P123	空き家の適正管理と発生抑制に向けた意識啓発のため、空き家・空き地バンクの年間登録件数も目標指標に追加してください。	登録件数については、増加するのが望ましい面がある一方、空き家が減少するのが望ましいという面もありますので、計画は原案のとおりとします。
28	P127～ 128	自然環境の保全で三河湾国定公園について記述を追加してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
29	P139～ 140	情報体制の充実に、ホームページのリニューアルを記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
30	P139～ 140	紙ベースの健康カレンダーを、デジタル機器で入手できる情報化ツールへ移行してください。	ご意見については、計画に取り組み中での参考意見とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
31	—	日出・堀切・小塩津地区の津波防潮堤整備事業と赤羽根漁港で胸壁整備事業を記載してください。	両事業は愛知県が実施する事業となっておりますので、計画は原案のとおりとします。

32	—	地元新聞に赤羽根市民センターと文化会館の取り壊しの記事がありました。支所や図書館の再編・集約と跡地利用の検討を記載してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
33	—	空き家のニーズは安くて状態の良い住宅を求めているが、そんな住宅は無い。住民が高齢化し施設に入り亡くなって相続して片付けてからでは、住んでいない間に住宅が傷んでくる。例えば医療・社協がある赤羽根福祉センターに行政・図書館機能が集約されれば、赤羽根市民センター跡地にシルバータウンを造り、早いうちに引っ越して貰えば状態の良い空き家が出る。	ご意見については、計画に取り組む中での参考意見とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
34	—	赤羽根地域の高松・赤羽根・若戸保育園は統合民営化で廃止されました。その後、高松保育園と赤羽根保育園は跡地が利用されていますが、若戸保育園は利用されてません。まちづくり推進計画書の改訂委員会で保育園跡地の活用が話し合わせ、集落に隣接しており、コミュニティ拠点の市民館・小学校に近く、高台の安全で真南を向いた平坦な土地で2車線道路もあり、人口減少対策のため10戸の宅地分譲を要望する事が地域総会で決定しました。人口が減少している地域で10戸程度のミニ開発が、コミュニティ維持や住み続けたいまちになるので、若戸保育園跡地を住宅分譲地に整備してください。	ご意見については、計画に取り組む中での参考意見とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
35	—	行政は田原市、農業はJA愛知みなみ、TVなどの観光紹介は渥美半島、お天気カメラは伊良湖岬と、名称がバラバラでそれぞれの相乗効果は見込めません。地域ブランド力の向上のため、田原市の市名の変更をしてください。	現在のところ、市名の変更は考えておりません。ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。